

# 筑波大学菅平高原実験センター 利用報告書

平成28年 7月 2日

貴センターを利用して行った実習・セミナーが終了しましたので報告します。

実習名 (セミナー名)	野外生態学実習I					
利用 期間	自 平成28年6月27日～		至 平成28年7月 1日			
	区 分	教 員	大学院生	学部学生	その他	備 考
利用者	人 数	1	1	23		
うち 受講者	人 数					
<p>1. 実習・セミナーの内容について、簡潔にお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 菅平高原実験センターで、刈り取りによって維持されている半自然草原から、刈り取りをやめたことで樹木が定着し成立したアカマツ林・落葉広葉樹林を観察し、植生遷移について学ぶ。</li><li>● 人の介在が半自然草原の種多様性に及ぼす効果について学ぶ。</li><li>● 根子岳登山では標高傾度に伴う植生変化について学ぶ。</li></ul> <p>2. 成果をお書きください。（可能であれば写真なども該当シートに添付してください。）</p> <p>今回の実習のメインテーマである、日本の半自然草原の成立要因、現在の危機的な状況や重要性について学んでもらえたと思います。 半自然草原における操作実験を通じて、人の関わりと半自然草原の種多様性について考える機会となりました。</p> <p>3. 当センターをご利用いただいた感想、ご要望などご自由にお書きください。</p> <p>宿泊棟、実習棟、調査フィールドが近くにあるので実習がやりやすい環境です。また今回、秤、メジャー、長靴などをお借りしましたが、お借りできる道具も充実しているのも魅力です。また根子岳登山の際にバスを出していただき、違うフィールドにも行きやすく実習のアレンジがしやすい拠点だと思います。</p> <p>4. 当センターは、「教育共同利用拠点」としての実習等の利用状況・概要をホームページ等で公開しています。上記1、2、3で非公開を希望される内容がありましたらお知らせください。</p>						

担当教員 下野 綾子

所 属 東邦大学理学部生物学科

職 名 講師

当センターでは、ホームページ等で実習等の成果報告を行っています。  
ホームページ上での掲載可能な写真を、コメントと共に頂けませんか？  
皆さんの充実した実習等の報告をお待ちしております。

(以下のスペースに自由に写真をはりつけ、コメントをつけてください。)



半自然草原での植生調査の様子  
調査区内の植物を刈り取る手順について  
田中先生から指導を受けている。



刈り取った  
植物の同定  
作業